

子どもたち あいどる	一四号	発行 社会福祉法人 路交館広報部 発行責任者 枝本 信一郎 編集 あいどる編集委員会(中川・稲・関) 〒533-0023 大阪市東淀川区東淡路2-7-5 TEL06-6321-3201 FAX06-6321-2977 ホームページアドレス http://www.rokoukan.or.jp 掲載の写真はアンケートに基づき掲載しています。
----------------------	------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

あけまして



おめでとう



がんばります



明けましておめでとうございます。

路交館理事長 枝本 信一郎

2018年という新しい年が、憲法改定がスケジュール化されようとしていることでもあり、改めて、民主主義とは何かを考え、模索する年になればと思っています。子どもや障害者を含む普通の人々が、それぞれに自分らしさを大切にそれを発揮できる、そのような社会を作り出す主体として自覚できるような民主主義的感性を育む保育・支援のあり方を模索していきたいと考えているのです。

さて、路交館では大阪市内のいくつかの保育園と連携して、もう30年近く日韓保育交流の事業を続けていますが、障がい者系事業ではそのような機会なかったのか、日韓保育交流に合わせて韓国を学ぶツアーを実施したので、そこで感じたことを書くことにします。

とはいえ、まずは日韓保育交流の方で実施された「保育園(保育)への父母(保護者)参加」をテーマとしたセミナーでのことから。セミナーでは、当法人の幼保連携型認定こども園聖愛園の安井園長が日本側を代表して発題をしました。その内容は次の機会に譲るとして、聴衆の一人としての枝本は、なかなか良い報告だったと思うのですが、韓国側の問題意識と交錯しなかったのか、反響としてはもう一つの印象。あるいは、マイクを通した発言さえ聞き取りにくくなる物凄い騒音でジェット戦闘機が10分か15分おきに頭上を飛び、セミナーが気分的に寸断されたことが、盛り上がり欠けた原因なのかもしれません。

実は、このセミナーの2,3日前に、障がい者系の訪韓団でDMZ(軍事境界線)に行ったのですが、日本で喧伝されている北朝鮮の挑発とか南北の緊張激化等々の話は裏腹に、全く牧歌的な風景が広がり、「緊張」って何のことという雰囲気でした。それがDMZから遠く離れた韓国南部の光州で前述のような頻繁なジェット戦闘機の飛行。やっぱり「緊張」ってあるのかなーと思われたが、このジェット戦闘機に飛行、セミナーが終わる5時間前になるとびたっと終了。定時でお仕事終了の感じ。丁度、米空母が日本海に展開していた時期で、米軍との合同演習(さらには航空自衛隊も参加していたのかも)に駆け出されたのだと思われた。南北緊張するものも、あるいはトランプや安倍が作り出しているのでは?と思われた次第です。

前記のツアーでは、DMZの他に、安重根(伊藤博文の暗殺者)記念館や(日帝時代に独立運動家の弾圧に使われた)西大門刑務所、戦争と女性の人権博物館(いわゆる従軍慰安婦の記念館)、独立記念館等々訪問をした。

戦争と女性の人権博物館は今回初めての訪問。最近も従軍慰安婦像に関連して日本の歴史認識が鋭く追及されているだけに、日本人として、ましては男として鋭く追及されるのだからなーとやドキドキしながらの訪問だった。ところが、確かに従軍慰安婦の問題について大きなスペースを割いて展示がなされているのだが、むしろ事実ありのままに明らかにすることで問題の所在を明らかにするという展示の仕方、スペースは小さいながらも、西欧諸国の同様の事例や、ベトナム戦争に従軍した韓国軍部隊での同様の事案の展示さえあった。要するに、過去の事実としての従軍慰安婦の問題を、一方では今日まで

続く慰安婦本人たちの「困難」や「苦しさ」に共感しその改善を求めつつも、基本的にはこれを過去の問題とすることなく歴史の中での負の遺産として明確に位置づけ、その歴史認識を基礎にして「戦争と女性の人権」をそれこそ「未来志向」的な具体的取組にしていこうというメッセージが強く押し出されていたのです。このことによって、逆に、日本のマスコミ論調というか世論に惑わされ、前述のようにやや「ドキドキ」しながら同館を訪れた枝本の浅はかさを鋭く追及されたように感じました。

他の3か所は大方20年ぶりの訪問だったが、それぞれに日帝時代の韓国独立運動の弾圧の様子や、それに付随する韓国人の大量虐殺の様子などがジオラマなどでリアルに再現され、これまで日本が犯してきた罪の大きさを深く反省しつつも、「日本」に対する「恨み」のようなものを感じ、ある種の「いたたまれなさ」を感じた。特に、独立記念館を訪れたときは、たまたま小学校高学年の遠足のグループと思しき子どもたちと一緒に見学することになり、言葉は分からないものの、展示されているジオラマなどを見ながら、「この人ら、こんな酷いことをした日本人や!!」とひそひそと話しているのを感じ、彼ら彼女らの痛めた記憶があった。

このため、今回の訪問でもそれなりの「覚悟」を持って臨んだのだが、これも良い意味で裏切られたというか、考え方(思想)として日本の側が大きく立ち遅れ、「負けた」と思われることになった。実際、展示されているジオラマの内容等は、ほとんど以前そのまま、その意味では事実関係を薄めるようなことは一切なかったが、「恨み」のニュアンスが大幅に弱められ、むしろ、様々な形で弾圧を受けた人々を、韓国の自主独立と民主主義のために戦った人々として位置づけ、これからも自主独立と民主主義の発展のため、韓国人の一人一人が努力していく必要があることをアピールする展示に変わっていたのです。

このような、ある意味で国全体としての民主主義を進展させようとの取り組みがあるからこそ、例のばく・くね大統領の罷免要求に何十万、何百万の人々が自主的に集り、他方罷免に反対する人々もそれなりに集まって声を上げる、というようなことがあったのだと、改めて思われました。

上に述べたような経験をしてきたところで、本稿冒頭の「民主主義とは何かを考え、模索する年になれば…」との思いになり、本当の意味で民主主義が実現されるためには、「子どもや障害者を含む普通の人々が、それぞれに自分らしさを大切にそれを発揮できる社会」である必要があるし、そのような社会を作り出すためには、「普通の人の一人一人が他人事とせず我がこととして考える自覚が必要」なのだと考え、このような「民主主義的感性を育む保育・支援のあり方を模索していきたい」と考えたのです。

新しい年が、皆様にとって良い年となるようにお祈りします。

日韓保育交流

「韓国研修を終えて」

私が行ったイファ子どもの家はソウル市内にあるのですが大変自然豊かで緑がたくさんあるところでした。初めは不安と緊張でいっぱいでしたが実際に行ってみると子どもたちはとても素直で優しく自然と関わることができました。また、イファ子どもの家では様々な体験をさせていただくことができ、少しだけですが韓国の文化にも触れることができました。その中でも、自然を大切にする保育というものがとても印象的でした。韓国の先生は、子どもの頃に自然にたくさん触れることが子どもたちの情緒の発達につながるのではという事で、自然遊びに大変力をいれているクラスでした。

4歳児クラスでは、月ごとにテーマを決めそのテーマに沿って教育していきます。10月はテーマが「秋」という事で保育室にはたくさんの秋を感じさせる装飾がされていました。壁画なども保育者がつくるのではなく子どもたちが自分たちで感じる秋を表現できるような製作を保育者が準備していました。お散歩に行った時も道に沢山落ちていた落ち葉を使って、子どもたちは落ち葉シャワーをしていました。私も子どもたちと一緒に何度も落ち葉シャワーをしました。楽しいと感じると同時に落ち葉から聞こえる秋の音や匂いなど「秋」にしか感じる事のできない経験ができました。



今回の韓国研修ではここでは書ききれないほど、多くのことを学び得ることができました。このような機会を与えて下さった皆様に感謝申し上げます。また、この学びを生かして今後は子どもとしっかり向き合い自分の保育を見つめ直していきたいと思えます。

(文責：聖愛園 面川)



「国が違っていても大切なことは同じ」

私は、光州にあるコモオリニジップ(コモ子どもの家)で研修をしました。コモオリニジップは、子どもが40人ほどの少人数制の園で、お家のようなあたたかい雰囲気でした。

保育室にはおもちゃが充実しており、ブロックやままごと絵本の他にも、楽器や虫メガネなど音楽や探索遊びなど自由に遊ぶおもちゃもありました。たくさんおもちゃがある中で、自分が好きなおもちゃを選び1人で遊ぶ姿や、同じおもちゃで友だちと一緒に遊ぶ姿もありました。コモオリニジップでは、子どもたちが自発的に遊ぶ環境をつくり、先生は子どもたちが遊ぶ姿を見守っていました。私が担当する乳児クラスでは、保育教諭が子どもたちの遊びを広げると共に友だちとの関わりを繋げていくことを大事にしています。同じ乳児クラスでも保育教諭の役割や立ち位置に違いを感じました。

研修で、先生と子どもの関わりをみていると、子ども1人ひとりを尊重し、人権を大事にしている園だと感じました。

それは、国が違っていても同じ保育教諭として私も大事にしていきたいと思えました。

(文責：北丘聖愛園 小田)



「朝鮮半島の民族と民主化の歴史を訪ねて」

10月26日から11月1日にかけて、路交館が長年続けている日韓保育交流の一環として、韓国の民族と民主化の歴史を学ぶツアーに参加させていただきました。在日朝鮮人であり現在は韓国で暮らしているキム・トッカン氏がコーディネートしてくださったこともあり、一般の観光では訪れることのないような日韓の歴史、民主化の歴史を肌で感じることでできる場所をめぐることができました。DMZ（非武装地帯）、光州マンウォルドン、戦争と女性の人權博物館、独立記念館、西大門刑務所など、一つ一つの訪問先で感じたことを述べればきりがありませんが、ツアーを通して感じたことは、日本という国は政府であり国家組織である（と私が感じている）のに対して、韓国という国は民族であり民衆そのものだという事です。

あくまで私個人の印象なのですが、日本も韓国も近代国家として政府があり官僚組織があるわけですが、日本人は日本という国と歴史の問題を語る時に、どこかしら冷めた自分とは関係のない政府の問題、自分とは違う場所にある歴史の問題であるかのように語ろうとするように感じます。それに対し韓国では、韓国（及び北朝鮮）の抱えている過去から現在に至る様々な問題を、誇りも屈辱も含めて朝鮮半島に生きる自分自身の問題ととらえているという雰囲気大きな熱量をもって押し寄せてくるような感覚がありました。帰国してしばらくしてからなのですが、その感覚はおそらく路交館で私が学んできた、路交館の目指す法人の姿と重なるのだと思うに至ります。路交館も社会福祉法人であるので当然理事長という役職がありますし、理事会その他の組織があります。しかし、路交館の本質はそこに通う子どもたちであり、利用者であり、一人一人の職員たちの共同体そのものなんだということです。

現在、日本と韓国という国と国との間には様々な問題がありますが、今回のツアーで感じたことはその問題一つ一つの理解ということよりも、その問題に向き合い未来に向けて進んでいこうとする人々のつながりとエネルギーでした。それは私たちの仕事においても絶対に不可欠なものです。今回の体験は法人にとっても、支援者としての私個人にとっても非常に貴重な体験となりました。このような機会をくださった法人と日韓保育交流を支えてきた多くの方たちに感謝するとともに、ぜひこのツアーも続けて多くの職員に同じ体験をしていただきたいと思います。

(文責：グループホーム 尾谷)



民族と民主化の歴史語って下さりました。



「お世話になっている皆様」に感謝を届ける♪路交館フェスタ☆

2017年11月3日(金・祝)に開催された「路交館フェスタ」ですが当日はお天気にも恵まれ気温も暖かく、絶好のお祭り日和となりました♪

公園のステージ・各模擬店ともに大盛況で、ステージ前は歓声と熱気で盛り上がり、各模擬店は行列ができるほどたくさんのお客様で賑わいました。

毎年このフェスタを通して、路交館の利用者やご家族、そして卒園し巣立っていった子ども達やそのご家族とお会いできるのも、楽しみの1つとなっております。また、路交館関係者だけではなく、日々地域でお世話になっている皆様と言葉を交わし、笑顔を交わし、楽しい時間を一緒に過ごすことができ、非常に嬉しく思っております。

また来年も、皆様の笑顔に出会えることを楽しみにしております。

たくさんのご来場ありがとうございました☆

(文責：路交館フェスタ委員会 山田)



東淡路子ども館

つくしの発表会、つくしフェスタ開催!

12月16日(土)、つくしの発表会『つくしフェスタ』がおこなわれました!

1・2年生は合同で劇を、3年生は詩の朗読と南中ソーランを踊りました。

1・2年生合わせて37人での劇は、全員集まっていた練習がなかなか出来ない中でしたが、一人一人が一生懸命やってくれました。セリフが飛んだり、順番を間違えたりした場面もありましたが、横にいる友達と確認しながら劇を進めていく姿や、セリフが出てこない子に耳打ちする姿はつくしの子どもたちならではの姿だと思いました☆

3年生は、自分の読みたい詩を自分で探しどうしてその詩を選んだのかもあわせて発表しました。短い詩でも心を込めて自信をもって発表してくれていました。南中ソーランは、体系から自分たちで決め大人はほとんど練習に入らず自分たちで練習を進めていて、本番では、3年生の「ソーラン、ソーラン!」などの掛け声が力強く響いていました。

高学年の杉の子クラブからもお笑いダンスを披露してくれましたよ、何もかも自分たちで決めて準備し、本番では会場を盛り上げてくれました。

最後に、1～3年全員で手話うたを披露、無事つくしフェスタを終えることができました!



↑1・2年生合同劇
緊張しつつも楽しかったようです



↑1～3年生全員での手話うた
これまでの練習の成果が出せました!



↑高学年女子のダンス
今人気のTWICEという
グループの曲で踊りました

(文責：福井)

路交館フェスタ ういず守口・滝井 ミュージカル

今年も路交館フェスタにミュージカルで出演させていただきました。今回で8回目、総勢80名。

人数が増え、経験を積んできた事もあり、講師の野島先生・越智先生が提案してくださり、演技が得意な『選抜チーム』リズムを感じ楽しく踊る『研修生チーム』に分かれるという初めての試みの中のミュージカルでした。7月頃から選抜チームは、より高いレベルを目指した『白鳥の湖』研修生は、今まで練習してきた『学園天国』を楽しんで周りを感じながら踊る事を目標に練習が始まりました。練習場所を今までの、ういず守口という限られた環境だけでなく、地域のコミュニティーセンターを借り、選抜・研修性チームと交代で練習をしました。

「こんなに練習で人数が抜けると、仕事が進まない!職員の人数が足りない!」等の声や反対に「練習で抜けるから、仕事お願いします。」「仕事、頑張るとくから練習、頑張っ!!」の声も聞かれました。その中で『頑張りたい!』の想いから選抜チームに手を挙げ、練習を頑張っていたメンバーにしんどさが表れました。そこで、「研修生チームで頑張ってもらおう。彼なら研修生チームを引っ張って行ってくれるだろう」との思いからチーム移動を考え、伝えました。初めは「え〜なんで!僕、頑張ったのに!」と言われた彼も、研修生チームでの役割を伝えると「分かった!そのかわり選抜チーム頑張っや!!」との言葉! すごく、心が温かくなり、自分たちの支援に自信を持たせてくれる一言でした。研修生チームでも『自分も選抜チームに入りたい!』と声があがり、練習を頑張り、アピールし選抜チームに来るメンバーもいました。職員もチームを分けた事で、フォローし合え、一丸となれたように思います。また、選抜チームでは本番、メンバーだけで演技ができる様に、昼休憩や朝の体操の時間もミュージカルの練習を行い、意識を向けてきました。その結果、「こっちやる!」「今や!出るで!」と引いたり、押したり、「もっと、こうしたらいいんじゃない?」と意見を出したり、出来ずに肩を落としたメンバーがやる気を出せるよう、押したり引いたり、待ったりとメンバー同士が教え合う姿が見られました。

研修生チームでは、リズムに乗り、楽しく体を動かし、団体で、どう動くかを何度も練習しました。声を上げれるメンバーが引っ張り、職員同士も、お互いが意見を出したり、愚痴が言えたり『言い合える仲間』で練習を重ね、メンバーも職員も自信を持ち、本番に挑みました。練習時には踊れなかったメンバーも踊れ、みんなが自分らしさを発揮でき、ういず守口・滝井らしい周りを笑顔にしてしまう大迫力のミュージカルを披露することが出来ました。

本番で研修生チームが着た衣装は、職員だけでなく、ご家族やグループホームの職員という沢山の方の、お力添えがあり出来上がった衣装です。「まだ手伝う事があったら作りますよ!また声を掛けてくださいね!」「職員さんのご苦労が分かりました。だから今回、こうして手伝わせてもらえて良かったです。ありがとうございました。」の声をいただきました。また、練習でコミュニティーセンターを使用する事で、センターの方や、ご近所の方との交流や社会参加にも繋がりました。



新しい試みへの第一歩となった今回のフェスタ。講師の先生方にはもちろん、支えてくださったご家族、地域の方々、メンバー、職員に感謝の気持ちで一杯です。

（文責：ういず滝井 津崎・ういず守口 西野）

幼保連携型認定こども園聖愛園

秋の遠足～3.4.5歳児～



どんぐりいっぱい

帰りの電車で
ちょっと休憩



ひつじ：
いずみさんどーぞ！



ほしさん
大丈夫かな？



公園まで
もう少し！
いっしょに
がんばろうね



10月26日に秋の遠足に千里南公園にいきました☆クラスをひつじさん(4歳児)に託し、ゆりさん(5歳児)は、ほしさん(2歳児)と一足先に出発！ほしさんの荷物を持ってあげたり、声をかけてあげたりしながら、ゆりさんは無事到着。そして、クラスのことを任せられたひつじさん(4歳児)は、いずみさん(3歳児)と手を繋ぎ、電車で公園に向かいました！公園についてからは、ゆりさんもクラスに合流し楽しみにしていたお弁当やおやつを食べてどんぐりを拾ったり、山に登りに行ったり、体もいっぱい動かし秋を感じた、楽しい、いい一日になりましたよ！
(文責：芦井)

☆☆☆☆☆☆☆☆給食総選挙☆☆☆☆☆☆☆☆

～淡路聖愛園・あすなろ編～

142号、143号でおこなっている4カ園による「給食総選挙」☆今回担当するのは、淡路聖愛園です!!
人気のあるメニューの中から、子どもたち(0～5歳児、学童)と保護者や職員に1番好きなメニューを選んでもらい、シールで投票してもらいましたよ。



☆結果発表☆

- かしのカレー焼き ……134票
- チンジャオロース ……65票
- とりにくの南蛮づけ ……32票

第1位に選ばれたメニューは...『かしのカレー焼き』でした!!

おすすめ
ポイント!

☆この3つのメニューで総選挙しました☆

1.かしのカレー焼き

オーブンで焼くことで表面がカリッとしていて美味しい。
カレー味でご飯がすすみます。



2.チンジャオロース

ピーマン嫌いの子どもにも人気。ピーマンと肉が絡み合っているので食べやすい。肉が多いのも食べやすいポイント!



3.とりにくの南蛮づけ

さっぱりしていて食べやすく、野菜が美味しい。子どもの口には食べ慣れない野菜のセロリを使用していますが、子どもたちにも人気です。



かしのカレー焼き <分量5人分>

鶏肉 ……	500g	砂糖 ……	7g
カレー粉 ……	5g	卵黄 ……	1個分
しょうゆ ……	15cc	片栗 ……	20g
塩 ……	2.5g		

- ①鶏肉をそぎ切りにする
 - ②ボールに鶏肉・カレー粉・しょうゆ・塩・砂糖を入れ混ぜる。
 - ③最後に卵黄と片栗粉を入れて混ぜる。
 - ④オーブンで200度20分蒸し焼きにする。
(フライパンで焼く場合は、油をひき、蓋をして焼いてください。)
- ポイント
味を付けているので焦げやすいですが、しっかり火を通してください。
豚肉でも応用が出来るとっても美味しいです。

児童発達支援センターわかくさ さくらんぼルーム

～遠足 in 太子橋中公園～

さくらんぼルームでは、1歳児～4歳児の子どもたちが日々一緒に過ごしています。秋晴れの11月7日(火)にみんなでバスに乗って太子橋中公園へ遠足に行きました。広々とした公園でどんぐり・落ち葉拾いをしたり、遊具で遊んだりと楽しい時間を過ごしました。お昼ご飯は保護者の方が作ってくれたおにぎり弁当! お腹も思い出しっぱいの遠足になりました!

(文責: 近藤)



幼保連携型認定こども園 豊新聖愛園

～異年齢児交流を大切にしています!～

豊新聖愛園では毎週木曜日に1歳～5歳児が4グループの大きなたてわりグループに分かれて、みんなで夕食を食べたり一緒に過ごす「はらっぱ活動」を行っています。はらっぱ活動では異年齢間の関わりを大切にしています。大きい子は自分が小さい時に大きい子にしてもらった時の記憶をしっかりと覚えていて、その記憶を頼りにお世話のやり方や遊び方などを小さい子にしてあげたり、小さい子が大きい子を頼りに普段の生活では出来ていることを「出来ない」と言って大きい子に甘えたりしています。そんなはらっぱ活動で培ってきた子どもたち同士の異年齢間の関わりを見せたい、豊新聖愛園で大事にしてきているものという想いで子どもたちの触れ合う姿を皆さんにお見せできる機会として、生活発表会でははらっぱの

4つのグループで出し物をします。各グループごとに異年齢間で面白い事や楽しい事を子どもたちが考えて、どうやったらいいか? どうすればいいかを工夫して保護者の方たちに見せようと思っています。この取り組みは開園当初から続いていて子どもたちはこの時間が大好きです。発表会での練習も1・2回しかできなくても息ぴったりです。今年もほっころの姿を発表会当日お見せできました。(文責: 杉本)



幼保連携型認定こども園 北丘聖愛園

～うたを通してつながりあえる北丘の子どもたち～

北丘聖愛園では昨年度から「毎月の園全体のうたを決めて歌う」「音楽集会(たてわり)」「音楽あそび(5歳児・午後の活動)」などを年間を通して取り入れて、より音楽を身近なものとするようにしています。

「毎月の園全体のうたを決めて歌う」ことでは、季節にあった昔からある童謡を主に歌っています。朝の登園の時間に放送でその歌が流れると各クラスで歌声が聞こえてきたり、また日常の中でも自然と大人や友だちと一緒に歌っており、全クラスが集まる誕生日会でも歌っています。おうちでも、きょうだいでその歌を歌う姿があるそうです。そんな風に共に同じ歌を歌うことで、友だちの声、存在に気付き、歌う楽しさや心地よさを共感し、クラスを越えてつながりあえています。また「音楽あそび」は5歳児クラスがリズムに合わせて体を動かしたり、楽器にふれ音楽を楽しむ時間をつくっています。音楽が苦手な子どもたちも毎週取り組んでいくことで、発表会では音と音が重なり合う楽しさなどに気づき、合奏を楽しんでいる姿がありました。

音楽がより身近にそして好きになっている北丘の子どもたち。今日も元気な歌声がどのクラスからも聞こえてきます。

(文責: 明智)



ウィリッシュ 自社製品告知!

皆様、あけましておめでとうございます!ウィリッシュです!

今回紹介させていただくのは、「お花」!!メンバーさん達が器(コップ等)、花の大きさ・色合い・見方目等、全てに拘った一品もの!それぞれ違った味わいを見せるので、まさに世界に一つだけの花!!

あなたに似合う花もここで見つかるかも!?



※全て造花となります。

毎年販売している「ウィリッシュノート&2018年度版の手帳」も、新規の絵柄を取り入れてなんと!今年も販売させていただきます!こちらもよろしくお祈りします!!

お問い合わせ TEL06-6379-1059 FAX06-6321-3481

(文責:尾中)

桜の園♪八雲地域文化祭でダンス披露!



11月12日(日)に桜の園がある守口市八雲地域文化祭に参加しました。今年は桜の園代表として生活④のメンバーさん達でビューティフルサンデーを踊って来ました。何度も練習をしたこともあってか、本番ではみなさん緊張も見られず、いい笑顔で踊っていました。保護者や地域の方々から「とっても良かったよ」「元気な桜さんの発表はいいね!」などの嬉しいお言葉をたくさん頂きました。終わった後、桜の園に戻って自分たちの踊っているビデオを見て、「カッコいいな」「100点かな」などの言葉がメンバーさんの口から出ていて、みなさん達成感を感じていたようでした!!桜の園代表として地域の方々ちにアピールできた一日だったかなと思いました。

(文責:池田)

~ほっとコミュニティういる 一泊旅行~

ほっとでは今年度の活動を「班」で取り組んでいます。

その中で9月に滋賀県に一泊旅行にいきました!!ロッジを借りて班ごとに自炊で夕食作りをし、キャンプファイヤーを楽しみました。自分達で火をおこし「そばめし」「やきそば」「お好み焼き」などあ〜だこ〜だと話し合いながら各々に作りました。キャンプファイヤーではみんなで火をかつみ半年を振り返りました。ロッジでは真夜中までつづくUNO大会。みんな思い出に残る旅行になりました。

普段は仕事中心のほっとですが、仕事でつちかつた関係を余暇や行事にも活かし「仲間作り」をしていきたいと思います。

(文責:阿部)



東淀川区子ども・子育てプラザ

大阪府大阪市東淀川区豊新2-1-4
東淀川区役所 4階
電話/FAX 06-6327-5650

つどいの広場事業

～親子でふれあう遊び場～

乳幼児(0歳～就学前)と保護者が楽しく、安全に安心して遊べるスペースです。

出会いと交流の輪が広がります。区役所の4階に気軽に遊びに来てください!

★軽運動室・集会室で自由に遊べます!

(※土曜の午後は集会室のみとなります)

★楽しい行事も開催します。

広いスペースで体をたくさん動かしたり、すべり台やおもちゃで遊んだり、絵本を読んだり…

～つどいの広場の1日～

【10時】…お待ちかねオープンです

【11時45分】…ちょっと体操タイム

【正午～】…ランチルームでご持参いただいたお昼ごはんも召し上がっていただけます。

【14時45分】…みんなで一緒にお片付け
ママどうしのおしゃべりも…もちろんパパもおじいちゃん、おばあちゃんも一緒に!

0・1歳児には専用の部屋(乳児室)があります。

(平日の15:00以降と土曜日の午後は就学前乳幼児すべての方が対象)

児童健全育成事業

～児童の遊び場～

児童(小学生から高校生まで)の健全な成長を目的としています。異年齢・異なった学校の子ともど
うしの交流ができます。

★児童が安全に遊べる場を提供します。

★児童のための各種行事を行います。

(例)卓球教室、クッキング、プラバン工作等楽しい行事を実施します。



プラザのQRコードです

4月より市の委託を受け、(福)路交館の仲間入りをしました。

地域の子育て支援事業

～子育て情報の発信・相談～

子育てをがんばっているあなたを応援します!

★講座や講習会 楽しい行事を随時開催!

○子育てのいろいろな悩みを解決する講座や講習会、相談などを関係機関と連携して実施。またストレス解消に調理、エクササイズ、ストレッチ等の講習会を開催します。

○親子で参加できる行事を開催します。(例:工作、ふれあい教室、ベビーマッサージなど)

○子育てサークルやママ友など子育てグループの集える場所を提供します。

○子育てに関する情報を提供します。

○区内の子育てサークルや子育てサロンに大型遊具や紙芝居、絵本等を貸出しています。

ファミリー・サポート・センター東淀川
(子ども・子育てプラザ内)

電話/FAX 06-6327-5672

～送迎や用事で援助が必要な時に～

急な保育ニーズに対応するために、
依頼会員と提供会員が行う相互援助活動です。

(有償ボランティア活動)

【依頼会員】 (子どもを預けたい方)

○市内在住でおおむね生後3ヵ月から10歳未満の子どもがいる方

【提供会員】 (子どもを預かりたい方)

○市内在住で自宅で子どもを預かることのできる方(資格、経験、男女を問いません)

○子育てで社会に役立ちたいと思う方

○2.4時間(6日間)の提供会員講座を受講した方
…両方会員も可能です…

【料金・手続き】

1時間800円または900円。他に交通費・食事(ミルク)代・おやつ代等は実費負担になります。事前にファミリー・サポート・センターへ会員登録が必要です。

路交館 これからの予定

<p>聖愛園・あすなろ・地コセ</p> <p>1月11日(休) 園内もちつき 1月19日(金) 2歳児お別れ遠足 1月25日(休) 0歳の絵本読み聞かせ(地子セ) 1月26日(金) 5歳児お別れ遠足</p> <p>2月2日(金) 節分集会 2月3日(土) 5歳児夢いっぱいコンサート 2月20日(火) 絵本読み聞かせ(地子セ) 2月23日(金) ゆりさんありがとう会&懇親会(おうち)</p> <p>3月5日(月) 5歳児お別れ会 3月10日(土) 卒園式 3月14日(水) 卒室式(地子セ)</p> <p>東淡路子ども館</p> <p>1月27日(土)~28日(日) つくし思い出旅行 2月17日(土)~18日(日) 杉の子スキー旅行</p> <p>3月3日(土) つくし卒室式 3月17日(土) 杉の子卒室式</p>	<p>北丘聖愛園</p> <p>1月11日(休) 5歳児もちつき体験 1月16日(火) 2歳児うさぎチャレンジ 1月19日(金) おたのしみ会 (人形劇・京芸) 1月23日(火) 作品展週</p> <p>2月2日(金) 節分豆まき 2月3日(土) 5歳児夢いっぱいコンサート 2月6日(火) マラソン大会</p> <p>3月8日(休) 5歳児お別れ会 3月10日(土) 卒園式 3月23日(金) 修了式</p> <p>豊新聖愛園</p> <p>1月9日(火) 作品展週 1月11日(休) もちつき大会 1月26日(金) にじお別れ遠足</p> <p>2月2日(金) 節分集会 2月3日(土) 5歳児夢いっぱいコンサート 2月8日(休) ゆりお別れ遠足</p> <p>3月2日(金) おひさま・そらぐみお別れ遠足 3月8日(休) ゆりさんとのお別れ会 3月10日(土) 卒園式 3月27日(火) 進級式</p>	<p>桜の園</p> <p>1月1日(月)~3日(水) 桜の園閉所 1月27日(土) 冬の地域交流</p> <p>パン工房 桜の園店頭販売 毎週水曜日11時~14時 大阪府庁アンテナショップ 毎月第1・3・5火曜日 守口市役所ふれあい広場 日にち未定(桜の園までお問い合わせください) 北丘聖愛園保護者向け販売 1月12日(金)・3月9日(金) 16時~18時</p> <p>わかくさ</p> <p>○さくらんぼ 2月17日(土) どきどき! わくわく! ハッピーサタデー『ふれあいあそび』</p> <p>○ポプラ 1月13日(土) ポプラ展 2月 日にち未定 お別れ遠足 3月3日(土) 桜の園交流 3月10日(土) 卒室式</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

★後援会よりお知らせ

路交館後援会では、毎号あいどるに後援会加入用の郵便局の払込用紙を同封させてもらっております。おかげさまで、毎号につき何名かの方が、新規入会あるいは、継続の手続きをしてくださっています。

後援会会費につきましては、あいどるの郵送料や、卒園児に送る路交館フェスタのゲーム券代等に使用させていただいています。ずっと据え置きしていましたが、消費税率がアップし、また郵便料金も値上げしているところで、**次号145号に同封分より**、以下のように改定させていただきます。

個人会員 現行 一口1,500円 → 新会費 一口 2,000円
法人会員 現行 一口2,000円 → 新会費 一口 10,000円

あわせて、路交館後援会への加入を募集いたします。今号に同封の払込用紙での入会・継続の手続きにつきましては、現行の金額になります。

後援会費は入金日より1年間有効です。ぜひ、みなさまのご協力をお願いします。

★寄附のお願い

当法人の保育・支援・活動にご賛同・ご支援いただける法人・団体・個人の皆様からのご寄附の協力をお願いしています。お寄せいただいた寄附金は、各施設の施設・設備整備、借入金の返済等に使用させていただきます。皆様からの暖かいご支援・ご援助を心からお願い申し上げます。

※どちらも同封の払込用紙を使っていれば、手数料は当法人負担になります。

編集後記

あけましておめでとうございます。

今年も路交館らしく、楽しい内容をみなさんにお届けしていきたいと思っております。2018年度もよろしく申し上げます。みなさんにとって幸多い一年になりますように☆

編集担当 あいどる委員 中川・稲・関